45 01 09 01 01 009

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	警防活動推進事務	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4512
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政施策分野別名 計画 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	消防法 消防組織法				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	迅速・的確な消防戦術を確立するため、消防職員に対し消防訓練等を実施することで消防力の向上を図ります。
目的 ※何のために	複雑多様化する災害様態に対応できる組織体制を構築するため。
対象 ※誰・何を対象に	消防職員。
手段 ※どのように	災害による被害を最小限度に防止する。 消防訓練を実施する。
成果 ※何を求めるか	消防力の向上を図るとともに、近隣消防等の協力により、関越自動車道における広域消防体制を構築する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	01	常備消防費	警防活動推進事務費	27,920
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 消耗品購入	・
・ 関越自動車道埼玉県消防連絡協議会負担金の支出	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	39,000	35,000	28,000	28,000	30,000	
	決算額	37,248	34,904	27,920	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	7,000	7,000	5,000	6,000	6,000	
	一般財源	30,248	27,904	22,920	22,000	24,000	
人件費	従事職員数（人）	0.65	0.65	0.60	0.90	0.90	
	人件費相当試算 ※1	5,056,350	5,058,300	4,716,600	7,333,200	7,333,200	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		5,093,598	5,093,204	4,744,520	7,361,200	7,363,200	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	合同訓練の実施回数	目標値	回	6.00	5.00	6.00	7.00	0.00	0.00	□
			実績値		7.00	7.00	4.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画に基づき目標値を設定							
		実施回数									
■	成果指標１	訓練参加者数	目標値	人							■
			実績値		157.00	70.00	90.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年度により訓練参加者数が増減するため、目標値は設定できない。							
		参加人数									
□	成果指標２	高速道路における災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各種災害に対応するため、目標値は１００％							
		対応数／災害発生数			３０／３０	３４／３４	２２／２２				
■	効率指標１	消防訓練１件あたりに係る費用	目標値	千円							■
			実績値		727.65	727.60	1,186.13	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 年間訓練計画を策定し、他団体との訓練を調整し、概ね訓練を実施し連携を深めることが出来た。ただ、東日本台風（１９号）の上陸により各地に甚大な被害が出て、予定していた訓練が中止になり、訓練を実施出来ないものもあった。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 各関係機関と合同訓練に職員を積極的に参加させ、各種災害活動時における連携強化、活動の円滑化が図れ災害対応能力の向上を図ることが出来た。このことにより、高速道路における災害対応を実施することが出来た。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 年度により訓練回数は増減するため、目標値の設定は出来ない。

評価者	警防企画係長　韮塚　教弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	大規模災害対応を安全・確実・迅速に行うために、国及び埼玉県等の関係団体との合同訓練には積極的に参加していく。
達成状況 及び その効果	年間訓練計画を策定し、各関係機関、各消防本部との合同訓練（東日本台風【１９号】により中止になった訓練は除く）を実施し、連携強化を図ることが出来た。合同訓練終了後、事後検証並びに改善点等をフィードバックすることで、災害対応能力の向上に努めることが出来た。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	警防活動推進事務	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4512

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

近年危惧されている南海トラフ地震や首都直下型地震や集中豪雨等による土砂風水害の各種大規模災害に対応するため、各関係機関、各消防本部等との連携強化は必要不可欠であり、災害活動を円滑に行うために合同訓練は積極的に参加、実施していく。このことから、現状のまま継続していく。

評価者	次長兼警防課長　髙野　政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

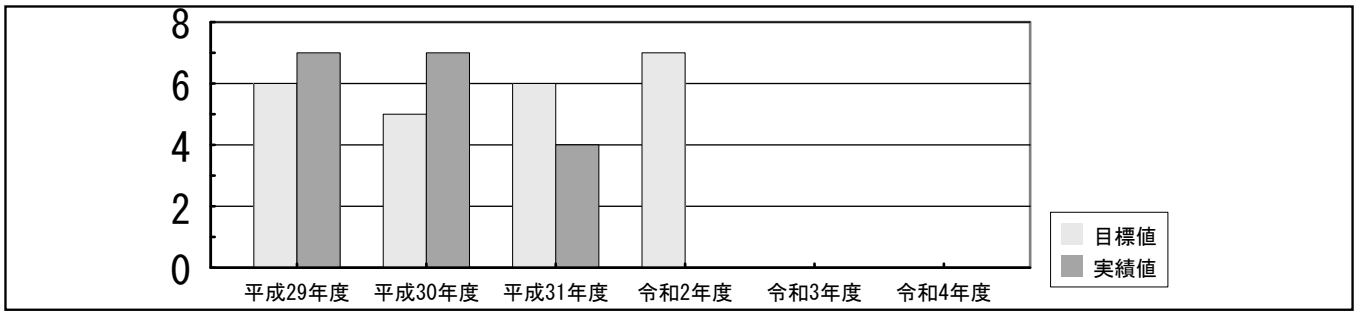
改善・改革案	大規模災害発生時、安全・確実・迅速に対応するために、国及び埼玉県等の各関係団体との合同訓練には積極的に参加し、円滑な活動を行うために連携強化を図っていく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

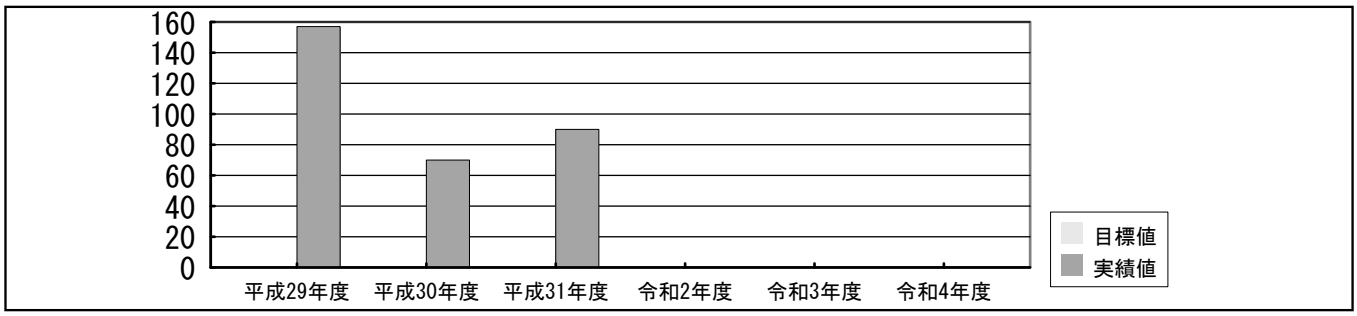
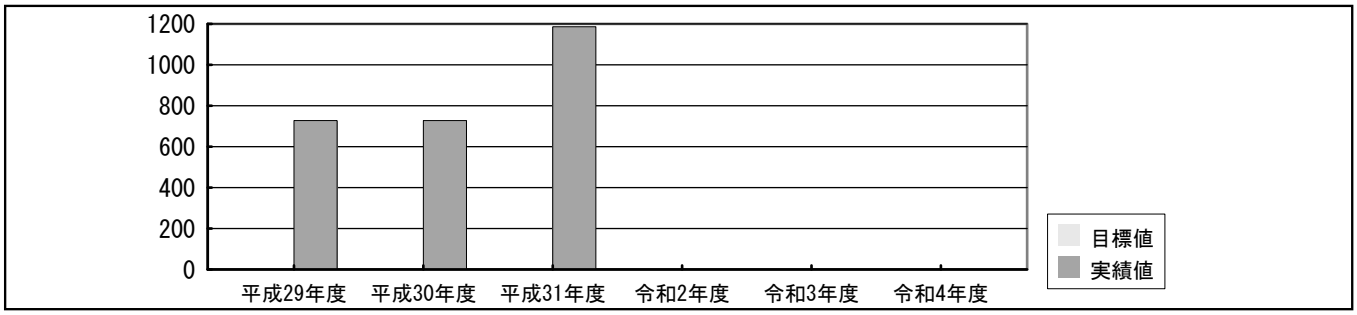
今後の課題	各種合同訓練に積極的に参加するには、人員的経費、施設管理経費等がかかることから、コストを意識した訓練計画の作成が必要となる。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	合同訓練の実施回数



区分	成果指標１	指標名	訓練参加者数



区分	効率指標１	指標名	消防訓練１件あたりに係る費用